

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	消防救急無線デジタル化事業		担当部署	消防本部 予防課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	電波法 審査基準	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="20"/> 21 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると			終 期
(小項目)		消防			
施策	2	消防体制の充実			
基本事業	2	消防力の強化			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業対象	誰(何)を対象にしているか	消防救急無線の全設備														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	電波法の改正を受け、消防救急無線を平成28年5月末日までにアナログ方式からデジタル方式に完全移行する。														
事業計画	26年度に何を計画していたか	鳴門市単独整備分の整備を行う。 ①瀬戸前進基地局の整備 ②移動局(緊急援助隊登録車両以外)の整備														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防救急無線のデジタル化</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位	消防救急無線のデジタル化	○	○	○			
指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位										
消防救急無線のデジタル化	○	○	○													

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成26年度9月定例会の議会の承認を得たのち、計画通り業務契約を結んだ。 平成27年3月20日瀬戸前進基地局の整備ならびに移動局(緊急援助隊登録車両以外)の整備を完了した。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	連絡協議会開催参加回数	—	3	—	—	回
	2	実施設計・整備工事	整備工事	整備完了	運用開始	維持管理	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	消防救急無線のデジタル化		○	○	—	—	—
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		完了			

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
			当初予算額	0	0	249,100	0	20,800	269,900
			全体予算額	0	0	241,100	0	7,626	248,726
			決算額	0	0	234,000	0	1,910	235,910
			繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,012千円/人)		総人件費		総事業費	
			0.816			5,613	241,523		

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	14,233	235,910	0		
	うち一般財源	1,023	1,910	0		
	人件費	652	5,613	0		
	総事業費	14,885	241,523	0		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		瀬戸前進基地局のエリアが拡大され瀬戸地区の無線交信がよかった。
	効率性	B:概ね効率的だった		音声クリアで他市町村の無線が入感しなくなり、雑音が無くなった。
②成果に対する評価	指標名	消防救急無線のデジタル化		計画のとおり、目標を達成することができた。
	目標	○	0	
	実績	○	0	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		アナログ無線より体感的に有効な電波の地区が広がったように思えるが市内の大きな建物の影に入ると感度が低下する

◎今後の方向性(ACTION)

課題	デジタル無線はアナログ無線と違い回線制御装置ほかすべてにおいてコンピューター制御されており、メンテナンスが必要である。H28年度以降保守点検・機器管理等の維持管理費が必要となり高額が予想されるため必要に応じた保守点検の選択が必要になってくる				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	初期不良等の確認及び電波の不感場所の確認。			
	H28年度	保守維持管理を効率よく行いたい。			